

# 県南社教TIMES

～夢と希望をはぐくむ県南の教育～

令和2年10月22日発行 第22号 福島県教育庁県南教育事務所

## 「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」 応募総数8,912点

### ご協力、ありがとうございました！！

共通の体験をもとに、子どもと大人がそれぞれの立場からの思いを十七字で表現する「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい事業」は、短い夏季休業期間にもかかわらず、各学校等（幼・小・中）のご協力のおかげで、9,000点に迫る応募数となりました。

この事業は、体験活動を通じた親子のふれあいや絆を深めるものであり、市町村教育委員会や各学校の皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。9月28日（月）には、退職校長会西白河支部・東白川支部25名の皆様にご協力いただき作品選定を行いました。

なお、入賞作品は、12月頃に発表される予定です。



作品選定の様子(9/28)

※ **学校における十七字の活用事例**がありましたら、県南教育事務所まで**情報提供**をお願いします。  
昨年は、棚倉小学校、白河中央中学校、泉崎村教育委員会の事例を紹介しました。

## 読書支援者中通り研修会・ビブリオバトル中通り予選会

県の事業「ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト」の一環として、9月5日（土）に県立図書館で上記研修会並びにビブリオバトル予選会が開催されました。

「読書支援者中通り研修会」では、一般社団法人ジャパン絵本読み聞かせ協会認定「絵本読み聞かせセラピスト®」「絵本読み聞かせマイスター®」の山田昭彦様を講師に迎え、「絵本読み聞かせセラピー®」を実施しました。また、「ビブリオバトル中通り予選会」には、県南域内から3名が出場しました。

予選会は、17名が3ブロックに分かれて行われ、各ブロック上位2名が決勝に進みました。

白河旭高校の東風谷朋美さんが決勝に進み、投票の結果、準チャンプ本（2位）の紹介者として県大会出場を決めました。

高校生決勝、中学生予選・決勝を行う県大会は、11月28日（土）に福島県文化センターで開催されます。

### ＜大会出場者と紹介本＞

岡田 悠花さん（白河旭高等学校）	わたしの「やめて」
東風谷朋美さん（白河旭高等学校）	アリエナクナイ科学ノ教科書（準チャンプ本） <b>県大会出場</b>
白岩 陽菜さん（光南高等学校）	一分間だけ

### 【読書支援者中通り研修会の様子】

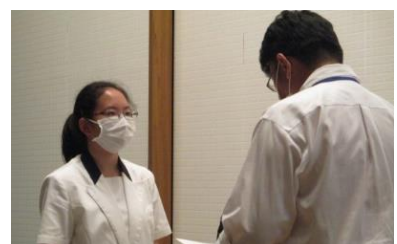
### 【ビブリオバトル中通り予選会の様子】



講師の読み聞かせ



セラピー(グループワーク)



表彰(準チャンプ本の東風谷さん)

# “ひがししらかわ”輝くふる郷体験事業

過疎・中山間地域連携事業の一環として、東白川郡内全小学校で実施しています。地域の人材を活用した体験活動を通して、地域の良さを再発見して、次代を担う人材を育成します。今回は、鮫川・近津・矢祭・埜・社川・笹原小学校の様子を紹介します。



↑水生生物調べ（鮫川小）8/24



↓御田植踊り（近津小）9/14



↑昔遊び（矢祭小）9/15



↓脱穀作業（埜小）10/9



↑脱穀作業（社川小）10/13

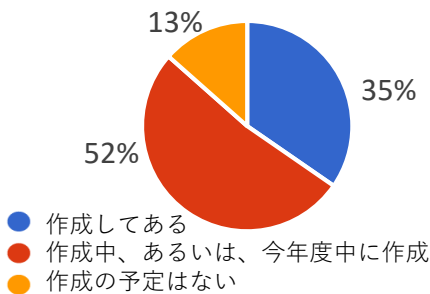


↓ダリア染め（笹原小）10/14

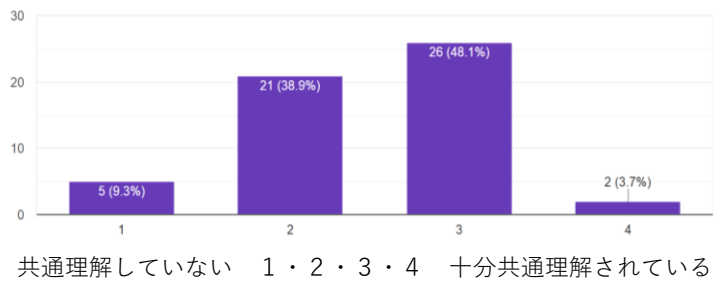
## 地域連携担当教職員等研修会

夏期休業中に「第1回目地域連携担当教職員等研修」を動画視聴という形式で実施しました。県南域内64名から申込があり、54名の方からアンケートの回答をいただきました。アンケート結果の一部についてお知らせします。

学校全体の連携・協働活動をまとめた計画が作成されているか。



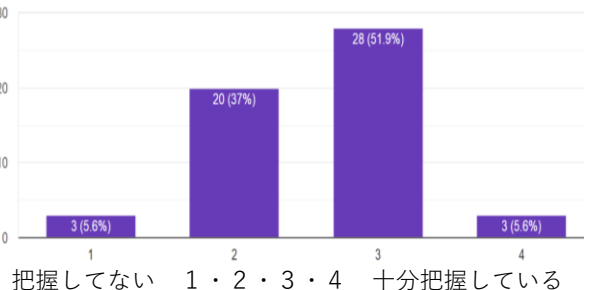
教職員が地域連携・協働活動（地域学校協働活動）の意義を共通理解しているか。



### 【研修の感想等】

- コロナ禍の中、オンライン研修ができて、有意義だった。
- 各校で参考になるような具体的な取組例や、その効果を表示してほしい。すでに作成してある学校の全体計画を参考としたい。
- 地域と学校の連携・協働の大切さについて、改めて理解することができた。本校は正に「地域と共にある学校」であり、これまでも、地域の素材や人材を教育活動に生かし、地域の方々に支えられながら学校運営をしてきた。「新しいものをつくる」というよりは、これまでの成果を生かし、改善を図りながら継続していけばよいと思う。

教職員の連携・協働活動のニーズを地域連携担当教職員が把握しているか。



第2回地域連携担当教職員等研修会は、11月2日（月）GoogleMeet（オンライン）で行います。